

平成 28 年度 校内研修（究）計画書

十和田市立北園小学校

1 学校の教育課題

（１）教育目標

先人の開拓精神に学び、郷土の発展に寄与する人間の育成に努める

創造力があり、未知を切り開く子ども（かしこく）

情操豊かで、意志の強い子ども（やさしく）

体が健康で、たくましい子ども（たくましく）

（２）目標達成上の課題

（かしこく）

① 基礎学力と当該学年の基礎的・基本的内容の確実な定着

② 校内研修（究）を中核とした思考力・判断力・表現力等の育成

③ 学習環境づくりと学習習慣の確立

（やさしく）

① 道徳の時間や全教育活動等を通しての、思いやりの心の育成

② 基本的生活習慣の定着

③ 児童の成長・変容を図る工夫

（たくましく）

① 健康を保持増進させる態度や習慣の育成

② 基礎的な体力・運動能力の向上

③ 危機回避能力の育成と、安全行動

2 本年度の研究計画

（１）研究主題

しっかりと自分の考えをもち、表現できる子の育成

～国語科における「読解力を高める」授業づくりをとおして～

※「しっかりと自分の考えをもち」とは…

① 文章を正確に読み取り ② 意見や感想、及び課題に対する自分の考えを、国語を適切に使って書き表せること。

※「表現できる」とは…

③ 国語を適切に表現し、自分の考えを相手に分かりやすく伝えること。

※説明的な文章の学習における「正確な読み取り（解釈）」のポイントは…

（低学年）時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

（中学年）目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読むこと。

（高学年）目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

※文学的な文章の学習における「正確な読み取り（解釈）」のポイントは…

（低学年）場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

（中学年）場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景など

について、叙述を基に想像して読むこと。

(高学年) 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

(2) 主題設定の理由

① 学習指導要領との関連

学校教育法第30条の第2項では、学力の重要な3つの要素として、「①基礎的・基本的な知識・技能 ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等 ③主体的に学習に取り組む態度」を強調している。また、学習指導要領「総則」の「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」では、「思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能を図る学習活動を重視するとともに、言語環境を整え、言語活動の充実を図ることに配慮する」ことが述べられている。

さらに、学力に関する各種調査の結果では、日本の子どもたちの思考力・判断力・表現力等には依然課題があることが報告され、言語を通した学習活動を充実させることにより、「思考力・判断力・表現力等」の育成が効果的に図られることが述べられている。

「思考力・判断力・表現力等の育成」は、本校の教育目標達成上の課題の一つでもある。個を高め合い、お互いが学ぶ喜びを実感し、成就感を味わえる魅力ある学習が成立するためには、「思考力・判断力・表現力等」の向上が重要となる。そこで、「しっかりと自分の考えをもち、表現できる子の育成」を主題とし、本研究に取り組むことで、学校目標の課題解決につながると考えた。

② 児童の実態、学校や地域の課題との関連

本校の児童は、明るく素直で何事にも前向きに一生懸命取り組む子どもが多い。「マナー日本一」を合言葉に、あいさつや廊下歩行にも力を入れ、学校内外での生活態度向上へも積極的に取り組んでいる。また、学力向上をめざし平成20年度から始まった「学びたいム」や「家庭学習ガイド」の取組の成果として、学力検査等の分析では、全学年・全教科においてほぼ全国平均を上回っている実態がある。基礎基本の確実な定着がうかがわれる一方で、数値的な課題をあげるとすれば、平成27年度全国学力・学習状況調査B問題の「読む」のポイントはかろうじて県平均を0.2ポイント上回るだけなど、特に「記述式」に関しては、他観点より低く、全国的な傾向と同様である。

平成25年度に受賞した、「優れた『地域による学校支援活動』文部科学大臣賞」は、本校と地域社会との強い信頼関係が認められた結果であった。また、平成27年度には、学校・地域が一体となって台湾北成国民小學との交流を成功させ、言葉の壁を越えて友情を深めることができた。このように、協力的な地域・PTAの支援を受け、学校内外においても、奉仕活動やあいさつ声掛け運動、登下校の見守りなど、児童を支援する体制が常時整っている。家庭学習や学習支援ボランティアなどへの取組も理解し、教育に熱心な地域・保護者であるゆえ、子どもたちも落ち着いて学習に取り組む環境にある。

③ これまでの研究の成果と課題との関連

本校では、平成21年度の「放送教育研究大会」に向けた研究から数年間「対話する力」の育成に焦点を絞って取り組んできた。「話合いの視点」や「身に付けさせたい話合う力」を明確にしながら交流活動に取り組んできた結果、教師も児童も日常的に意識しながら授業実践できるようになった。また、平成23～24年度は、パナソニック教育財団の実践研究助成を受け、「論理的な思考力を育てるためのICT機器の活用のあり方」を研究してきた。パ

ソコンや電子黒板，プロジェクター，実物投影機といった機器に加え，iPad や Apple TV と
いった無線端末機器を活用し，効果を上げてきた。

平成25～26年度は，前年度までの反省を受け，パイロット教科を算数科に絞り，主に
「しっかりと考えをもつ」ことを中心とした研究を行った。そして，平成27年度は，「しっ
かりと考えを持つ」ことに加え「活用する力を高める」授業づくりと題して研究発表会を行
い，沢山の参観者の御意見をいただきながら思考力・表現力の育成に取り組むことができた。
今年度は昨年度の反省を生かし，パイロット教科を国語科に移した上でポイントを「読解力
向上」に絞り，具体的手立てを考えながら授業に生かしていくことが大切と考え，研究に取
り組むこととした。

(3) 研究目標

読解力を高めるためには，メタ認知能力の育成を意識した学習指導の工夫を行うことが有
効であることを，国語科の授業実践を通して明らかにする。

(4) 研究仮説

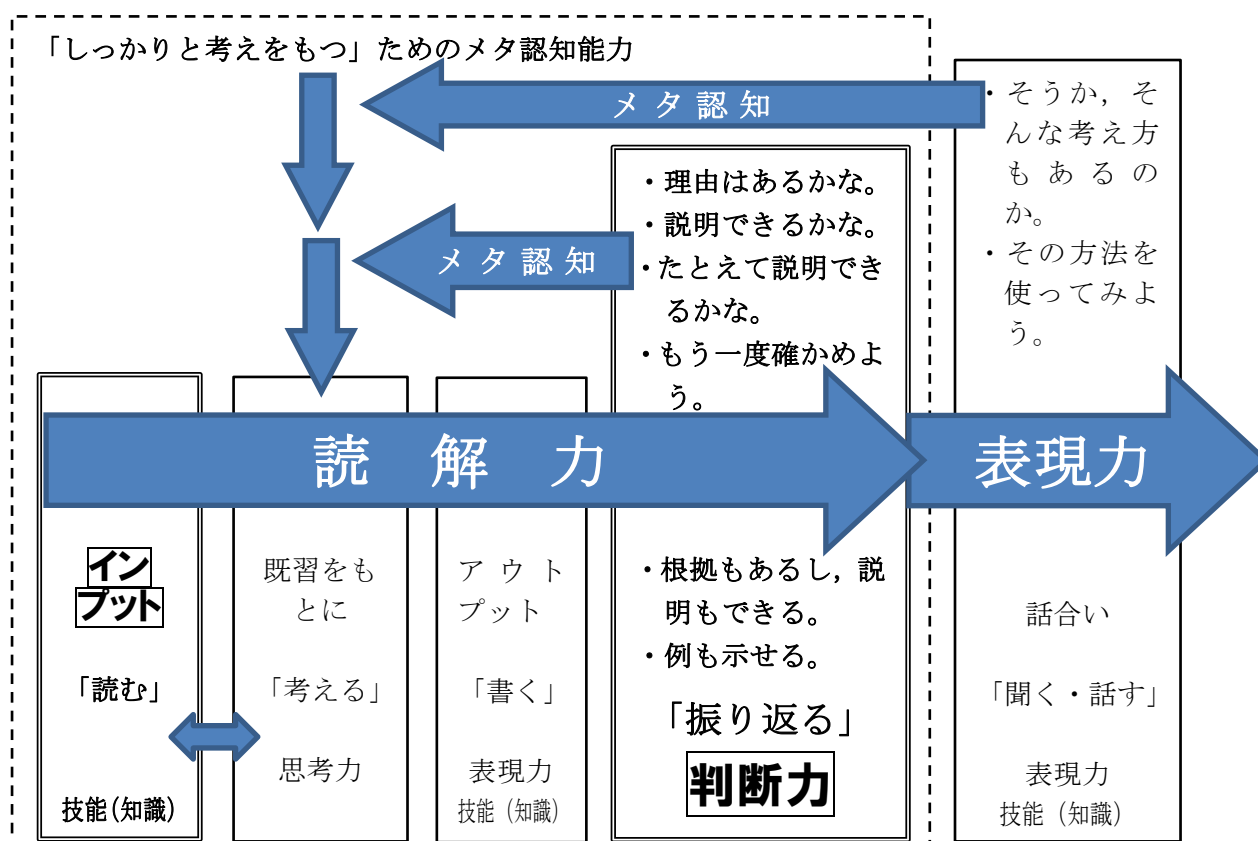
国語科の学習指導において，各学年の発達の段階に応じながら，

- ① (児童が) 正確に読み取るための手立ての工夫
- ② (児童が) 読み取ったことを客観視できる場の設定

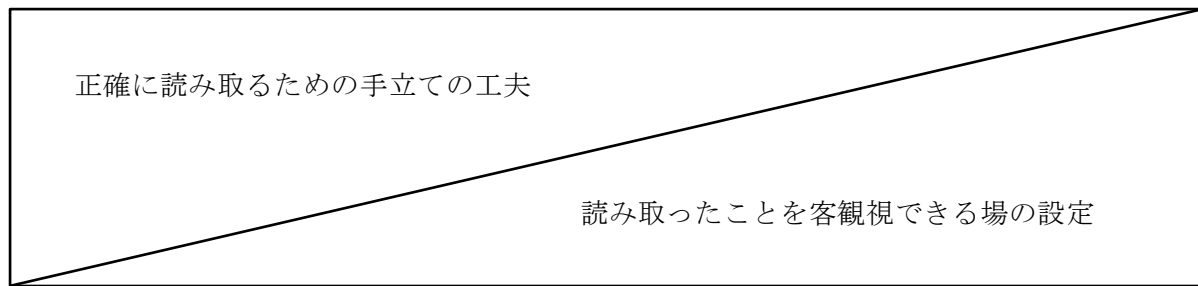
のどちらか又は両方を行うことにより，メタ認知能力を育て，読解力を高めることができる
であろう。

(5) 仮説の検証に向けて

【目指す児童の姿と強化したいポイント】



【授業の学習過程において意識するポイント】



(低学年)

(中学年)

(高学年)

- ① 検証授業において、仮説に関する手立てが適切だったかどうか検討する。
- ② 抽出児童の普段の様子と検証授業での様子の違いを観察し、仮説に関する手立てが適切だったかどうか検討する。
- ③ C R T等各種調査において、「読むこと」の観点の変容を検討する。
- ④ 「学びたいム」や「朝自習」の時間に「読解力を高める課題」などを積極的に取り入れたり、学習サイクルに「音読」を取り入れたりして、本研究主題育成への足場づくりとする。
- ⑤ 「読解力向上」のための読み取りの工夫について開発・検証する。

- (例)
- ・三段階の読み（１０の視点）
 - ・フレームリーディング
 - ・自力読み（２５の観点）
 - ・教材にしかけを作る１０の方法
 - ・クリティカルリーディング

(６) 研究日程

	月 日	内 容	方法	教科 領域	要請指導主事
1	4月13日 (水)	前年度の研究の概要説明と今年度の研究の方向性確認	全体協議		
2	4月22日 (水)	研究主題・目標・仮説・検証方法・研究日程について	全体協議		
3	5月6日 (水)	めざす児童像の設定, 実態調査項目の検討, 研修計画の確認	全体協議		
4	5月25日 (水)	検証授業の指導案検討会計画, 各検証授業の課題の共有・指導確認等, 指導案の様式	全体協議		
5	6月22日 (水)	6年提案授業 授業者 小林 忠輝	全体協議	国語	十和田市立北園小学校 校長 水口 宏
6	7月20日 (水)	各ブロック指導案検討	各学年		
7	9月2日 (金)	3学年検証授業 授業者 宮本 小百合	全体協議	国語	十和田市教育委員会 指導主事 田中 拓郎
8	9月28日 (水)	4学年検証授業 授業者 成田 美香子	全体協議	国語	十和田市立北園小学校 校長 水口 宏

9	10月5日 (水)	1 学年検証授業 授業者 須郷 夏絵	全体 協議	国語	十和田市立北園小学校 校長 水口 宏
10	10月26日 (水)	2 学年検証授業 授業者 工藤 茜	全体 協議	国語	十和田市教育委員会 指導主事 田中 拓郎
11	11月18日 (金)	5 学年検証授業 授業者 奈良 琢磨	全体 協議	国語	十和田市立北園小学校 校長 水口 宏
12	12月7日 (水)	今年度の研究の反省(成果と課題), 研究紀要作成について	全体 協議		
13	1月18日 (水)	今年度の研究内容の考察	全体 協議	国語	十和田市立北園小学校 校長 水口 宏
14	2月15日 (水)	今年度の研究のまとめと次年度の研究の方向付け①	全体 協議		
15	3月8日 (水)	次年度の研究の方向付け②	全体 協議		

3 研修計画

(1) 研修の重点寵愛

- ① 教育活動をより良いものにできるような専門的な知識や技能を身に付ける。
- ② 先進的な研究に取り組んでいる学校の情報を, 全教職員で共有する。

(2) 研修日程

	月日	内 容	方法	教科 領域	要請指導主事等
1	4月13日 (水)	一般研修① I C T 研修	全体 講義	視聴 覚	校内講師 教諭 小林 忠輝
2	8月18日 (木)	一般研修② 特別支援教育の理解	全体 講義	特別 支援	七戸町立七戸小学校 教頭 内海 浩幸
3	1月13日 (金)	一般研修③ 道徳教育の教科化について	全体 講義	道徳	校内講師 教諭 島田 博士
4	2月15日 (水)	各種研修会等報告会 1	報告	各教 科	報告者: 1月までの県外研 修の派遣者
5	3月8日 (水)	各種研修会等報告会 2	報告	各教 科	報告者: 3月までの県外研 修の派遣者

本主題での研究 1 年目		研究教科等	国 語
研修主任	小林 忠輝	研究指定の 有無	有 ・ (無)